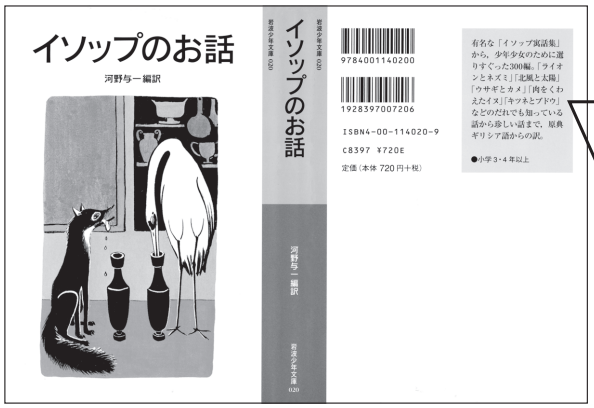
3　高田さんは、小学生のころに好きだったイソップの話に関する本を読もうと考え、次のページの【ア】、【イ】、【ウ】は、A、B、Cの本の一部です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

A



（裏表紙の文章）

有名な「イソップ寓話集(注1)」から，少年少女のために選りすぐった300編。「ライオンとネズミ」「北風と太陽」「ウサギとカメ」「肉をくわえたイヌ」「キツネとブドウ」などのだれでも知っている話から珍しい話まで，原典ギリシア語からの訳。

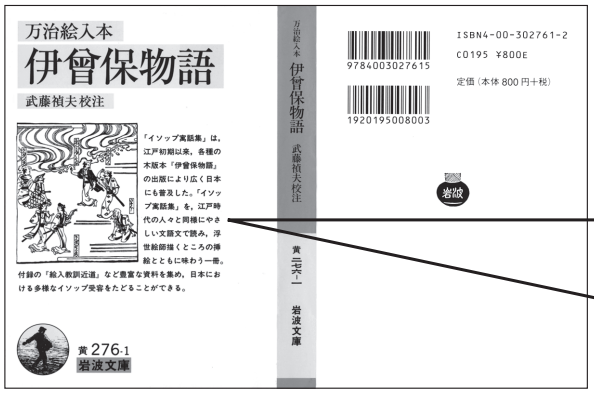
●小学３・４年以上

B

（帯の文章の一部）

イソップ寓話にこめられた厳しい世間を生き抜くための智恵(ちえ)とその魅力を阿刀田(あとうだ)流に読み解いた，ご存じ，「知っていますか」シリーズ最新刊。

C



（表紙の文章の一部）

「イソップ寓話集」は，江戸初期以来，各種の木版本『伊曾保物語(いそほものがたり)』の出版により広く日本にも普及した。「イソップ寓話集」を，江戸時代の人々と同様にやさしい(注2)文語文で読み，浮世絵師描くところの挿絵とともに味わう一冊。

（注１）　寓話＝教訓的な内容を含んだたとえ話。

（注２）　文語＝昔の文章に使われた言葉。

【ア】

冬になって、穀物が雨にぬれたので、アリがかわかしていますと、おなかのすいたセミがきて、たべものをもらいたいといいました。

「あなたは、では、なぜ夏のあいだに、たべものをあつめておかなかったのです。」

「ひまがなかったのです。歌ばかりうたっていましたから。」と、セミはこたえました。

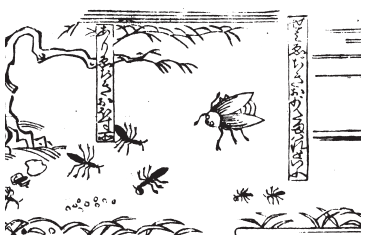
するとアリは、笑っていいました。

「夏のあいだうたったなら、冬のあいだ踊りなさい。」

【イ】

さる程に、春過ぎ、夏闌け、秋も深くて、冬の比にもなりしかば、日のうらうらなる時、蟻、穴より這い出で、餌食を干しなどす。蝉来つて、蟻に申すは、

「あな、いみじの蟻殿や。かかる冬ざれまで、さやうに豊に餌食を持たせ給ふものかな。我に少しの餌食を賜び給へ。」……



【ウ】

次のストーリーは、

「へえー、これって……。」

と首を傾げるかもしれない。

〃冬のさなかに蟻たちが巣穴より五穀を引き出して日にさらし、吹く風に当てていた。蝉が来てこれを少しもらった。蟻が言うには、

「あんたは過ぎた夏の日に、秋の日になにをやってたの？」

「夏も秋もひたすら歌を歌ってひまがなく、仕事ができなかったのよ。」

蟻があきれて、

「だからそんな様子なんだ。夏も秋も歌って遊んでいたんだから、今も精いっぱい歌ったらいいだろ。」

さんざんからかいながらも少しだけ餌を分けてやった。

下心(注3)は、人は力が尽きないうちに将来のための勤めを果たしておくことが大切だ。わずかでも力とひまのあるときに遊びに耽ける者は必ず後で難を受けずにはいられない。〃

あら筋はイソップ物語の中で一番有名と言ってよいストーリー。このエッセイの第1話でも触れたように、私たち日本人がよく知るストーリーでは蝉ではなく、きりぎりすが一般的だが、原話は蝉である。

（注3）　下心＝文章に隠されている意味。

一　Aの（**裏表紙の文章**）に書かれていることからどのようなことが分かりますか。次の**1**から**4**までのうち、最も適切なものを**一つ**選びなさい。

1　Aの本の著者がイソップの話以外にもギリシア語の作品を訳していることが分かる。
2　Aの本に収められたイソップの話の教訓は、一般には知られていないことが分かる。
3　Aの本がいつ出版されたかと、イソップの話がどのようにして生まれたかが分かる。
4　Aの本に載っているイソップの話の数や題名、対象としている読者の学年が分かる。

二　**【ア】**、**【イ】**、**【ウ】**は同じ話を取り上げています。**【ア】**、**【イ】**、**【ウ】**は、それぞれA、B、Cのどの本に載っていますか。（**裏表紙の文章**）、（**帯の文章の一部**）、（**表紙の文章の一部**）を手がかりにして、最も適切なものを**一つずつ**選び、その記号を書きなさい。

三　あなたは、A、B、Cの本の中から**一冊**を選んで読むとしたら、どの本を読みますか（どの本を選んでもかまいません。）。一冊を選んだ上で、**〈その本を選んだ理由〉**を次の**条件1**から**条件3**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　**（裏表紙の文章）**、**（帯の文章の一部）**、**（表紙の文章の一部）**の中にあるいずれかの言葉を使って書くこと。

条件2　今までの体験や読書の経験と結び付けて具体的に書くこと。

条件3　**五十字以上、八十字以内**で書くこと。

※　左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

選んだ本の記号

A

B

C

←選んだ本の記号に○を付けなさい。

〈その本を選んだ理由〉

80　50